

定例会 5月会議

平成28年5月9日、定例会5月会議が開催されました。

町長から提出された案件は、報告案件2件でした。

また、選挙管理委員の選挙も行われ、委員および補充員それぞれ4人が当選しました。

人事

選挙管理委員

生内正昭さん



伊藤時男さん



茅野克己さん



細川栄子さん



町の選挙管理委員の任期満了に伴い、水分の生内正昭さん、彦部の伊藤時男さん、日詰の茅野克己さん、片寄の細川栄子さんの4人を選任しました。補充員には赤石の藤尾智子さん、長岡の阿部均さん、古館の古館雅晴さん、佐比内の原優光さんを選任しました。

選挙管理委員会は、公正な選挙を行うため、町から独立した機関として設置されており、委員の任期は4年間です。

地方創生に関する調査特別委員会

28年6月10日、地方創生に関する調査特別委員会が開かれ、地方創生先行型交付金5事業の実績などの評価が示されました。質疑の中から主なものをお知らせします。

地方創生先行型5事業

- ・リノベーションまちづくり事業
- ・総合戦略策定事業
- ・地域資源活用観光振興事業
- ・新規就業支援事業
- ・都市空間確保事業

リノベーションまちづくり

Q 旧役場庁舎は活用するののか。

A そのままの利用は難しい。壊して土地利用するにも、解体費用が約1億円で全額町負担となる。

地域活性化事業

Q 地域資源活用観光

振興事業は900万円の補助が出ているが、実績は。

A ツアーを5回開催し、特産品のPRとしてパンフレットを作成した。また、ホームページを改修し、マップ上で観光地の情報を閲覧できるようにした。今後は宿泊業者との連携で宿泊型ツアーを考えていきたい。

A 年度内に取りまとめ、税収効果を調査したいと考える。

Q 新規就業支援事業で就業希望者が研修を受けたが、その後は。

A これまで11ヶ月経過したが最長2年間継続できることから、現在も研修中である。

Q 都市空間確保事業



ひっそりとたたずむ旧役場庁舎

公民連携ウォッチング

～ 新しい保育所運営に意見が相次ぐ ～

平成28年6月10日、第4回公民連携事業調査特別委員会が開かれ、29年4月開所予定の(仮称)紫波中央駅前保育所の運営事業者、およびその方針などについて示されました。

町として初めての民設民営保育所ということもあり、各委員から質問や意見が相次ぎました。

【保育所の概要】

| | |
|-----------------|---|
| 事業者及び所在 | 社会福祉法人 共助会 理事長 作田 勉 東京都八王子市南浅川町2883-2 |
| 保育所の規模 | 木造2階建て 敷地面積：1,926㎡ 建物床面積：1,202㎡ |
| 土地契約 | 権利：借地権 年数：31年 賃料：年額1,368,000円 |
| 保育の考え方 (抜粋) | ・小児医学、小児精神神経医学の知識に基づいた「保育所」 ・美術、音楽、体育、国語、外国語教育で特色を持たせる ・共に助けあう大切さを体験させ、人間性を高める保育と教育 |
| 保育プログラム (抜粋) | ・緑豊かな地域性を生かし、自然とともに生きる力を育てる ・開かれた環境の中で、他に共感する心や思いやりの心を育てる ・人間性の育みに大きく関わる「食」の大切さを伝える |

【主な要望意見】

保証金額は土地賃料の1年分とあるが、初めて運営するリスクも考慮すると少ないのではないかと懸念が示された。

駐車場は緊急車両用の4台とあり、幼児の送迎は保育所から離れたサンビレッジ紫波の駐車場を予定しているようだが、怪我や事故などのリスク管理については大いに心配である。

民間事業者の長所・短所をバランス良く考慮し、将来も決して住民に迷惑をかけない体制を望む。

エネルギーステーションの熱供給について、オガールセンターも初期費用の兼ね合いで接続せず、オガールタウンも半分程度と伸び悩んでいるようだ。保育所にはぜひ導入していただきたい。

学生や乳幼児が通うエリアとして、照明には防犯や安全面から十分に配慮していただきたい。

新設移転後の保育士配置は、幼児や保護者へ不安を与えないよう、移転後も継続雇用のもとで安心な保育環境を提供してほしい。

このほか、オガールタウンの分譲状況なども示されました。これらのプロジェクトによって、町内各地でも民間資本による開発が次々と進められており、相乗効果も次第に現れておりますが、プロジェクト自体はまだまだ道半ばです。我々は町政を監視する立場として、未来の町の姿を見据え、引き続き厳しい目で取り組んでまいります。